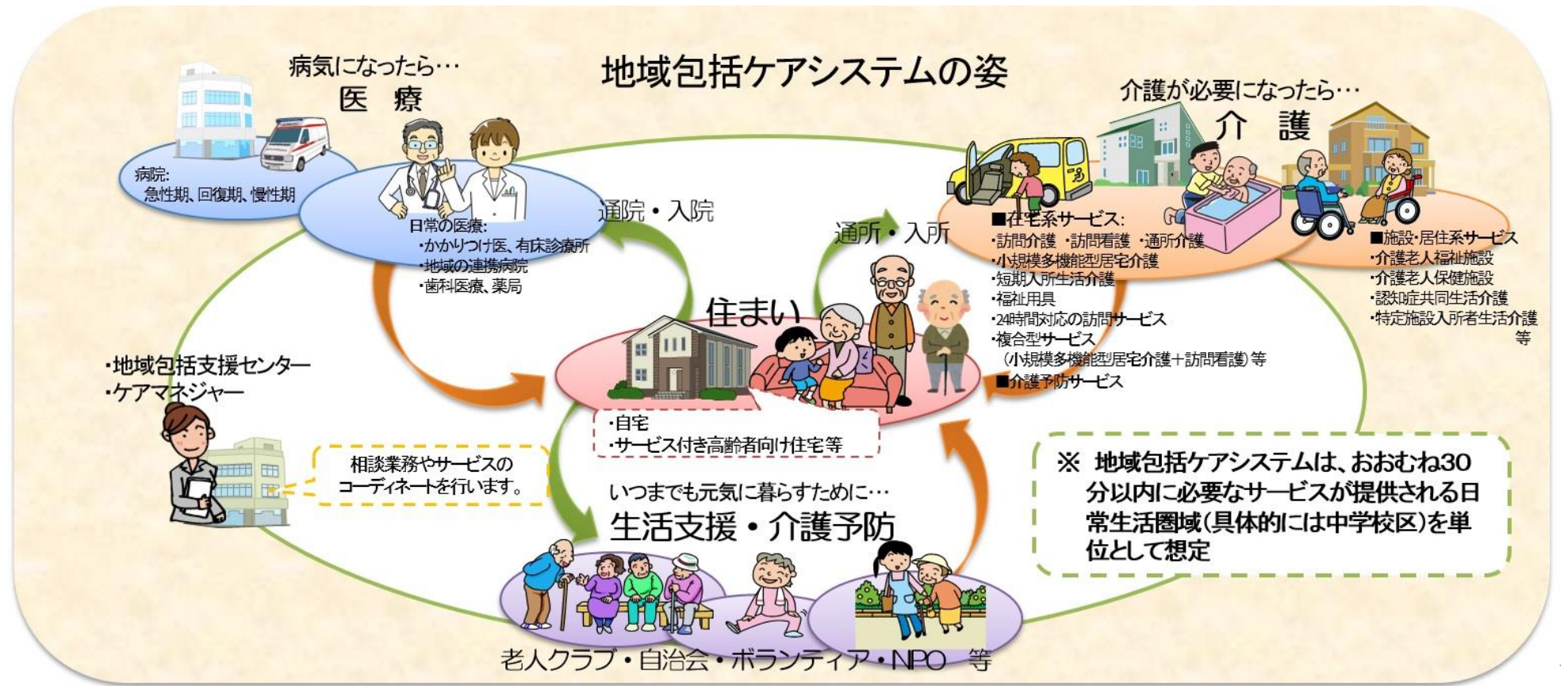


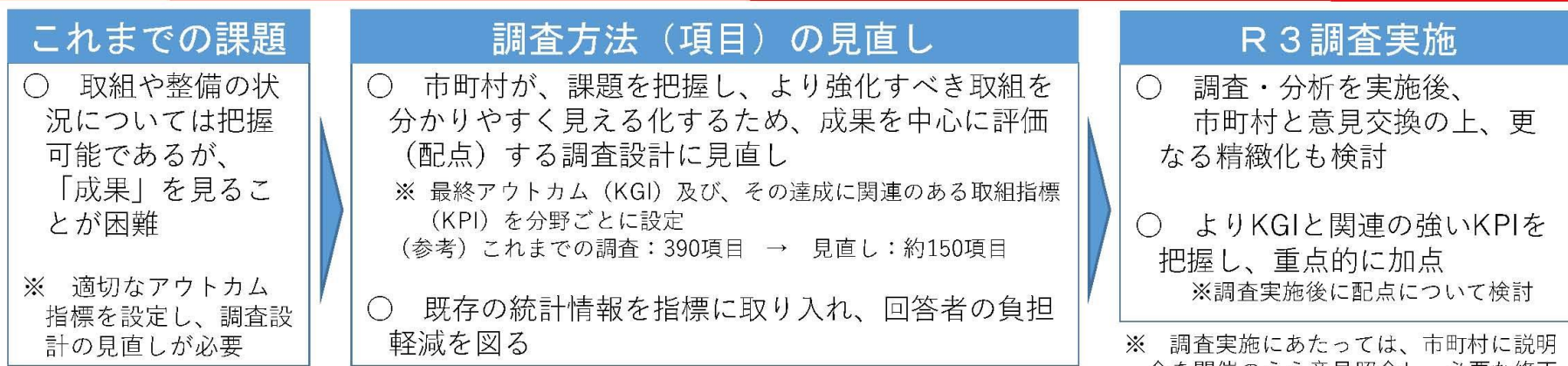
# 東御市介護保険運営協議会等資料

## 東御市の介護保険状況について

### 「東御市の地域包括ケアって今、どんな感じ？」



# 第8期以降の地域包括ケア体制構築状況の「見える化」について



## 見直し後の評価項目の例

分野	最終アウトカム（KGI）の例	中間アウトカム（KPI）の例
介護予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康寿命（日常生活動作が自立している期間）</li> <li>・ 年齢等調整済み要介護認定率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会参加意欲</li> <li>・ 閉じこもりリスク高齢者の割合</li> <li>・ 要支援者のサービス利用1年後重症化率</li> </ul>
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気高齢者の幸福感</li> <li>・ 社会参加・参画度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅療養率</li> <li>・ 要介護3以上の者の在宅サービス利用率</li> <li>・ 生活支援サービスの充実を必要と感じている者の割合</li> </ul>
医療と介護の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅死亡率</li> <li>・ 老人ホーム等死亡率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACPの実施割合</li> <li>・ 入退院時の情報提供率</li> <li>・ 退院調整の実施率</li> </ul>
住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅療養者の満足度 （・ 施設入所者の幸福感・満足度） ※現状、数値の取得は不可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設入所を希望する理由が「住まいの構造」のみの割合</li> <li>・ 特養の入所待機期間</li> <li>・ 特養及び有料老人ホーム等利用者の所得段階割合</li> </ul>

※ このほか、アウトプット指標、ストラクチャー指標など、参考指標も含めて必要な調査項目を設定

# 1.自立期間が延長している（できる期待がある）

## 1-1健康寿命が延びている

■健康寿命 平均自立期間（要介護2以上）	2020	2021	順位	県
◎ 男性	81.1 歳 →	<b>81.8</b> 歳	17 位	81.1 歳
◎ 女性	84.6 歳 →	<b>85.2</b> 歳	31 位	84.9 歳

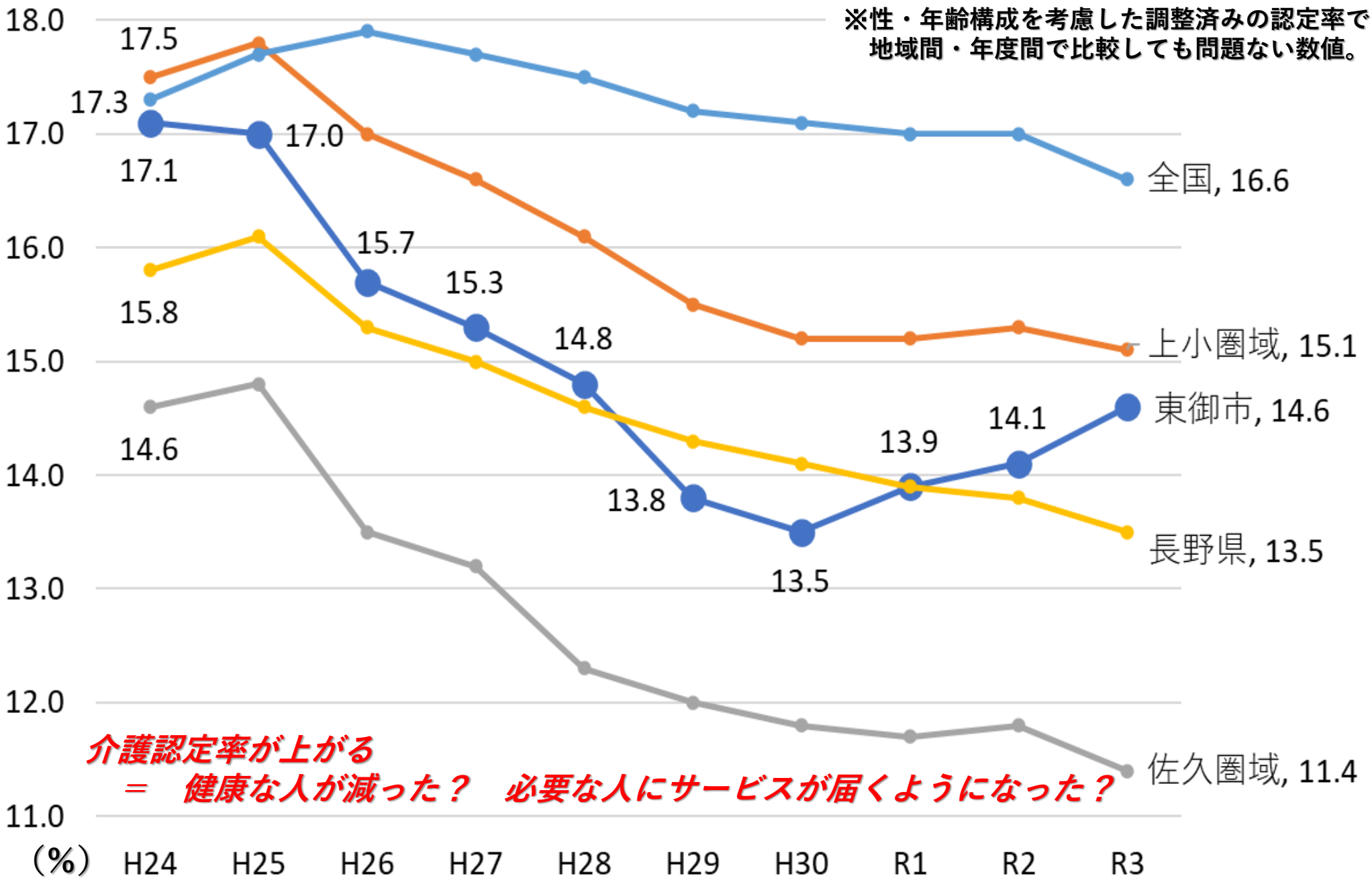
## 1-2認定率が抑えられている

■調整済み認定率	2020	2021	順位	県
◎【全体】	15.7 % →	<b>16.8</b> %	72 位	15.5 %
【要支援 1・2】	3.4 % →	<b>3.8</b> %		3.9 %
【要介護 1・2】	6.5 % →	<b>6.8</b> %		5.9 %
【要介護 3・4・5】	5.9 % →	<b>6.2</b> %		5.5 %

## ◎年を重ねても、介護が必要になっても、幸福を実感しながら暮らしている

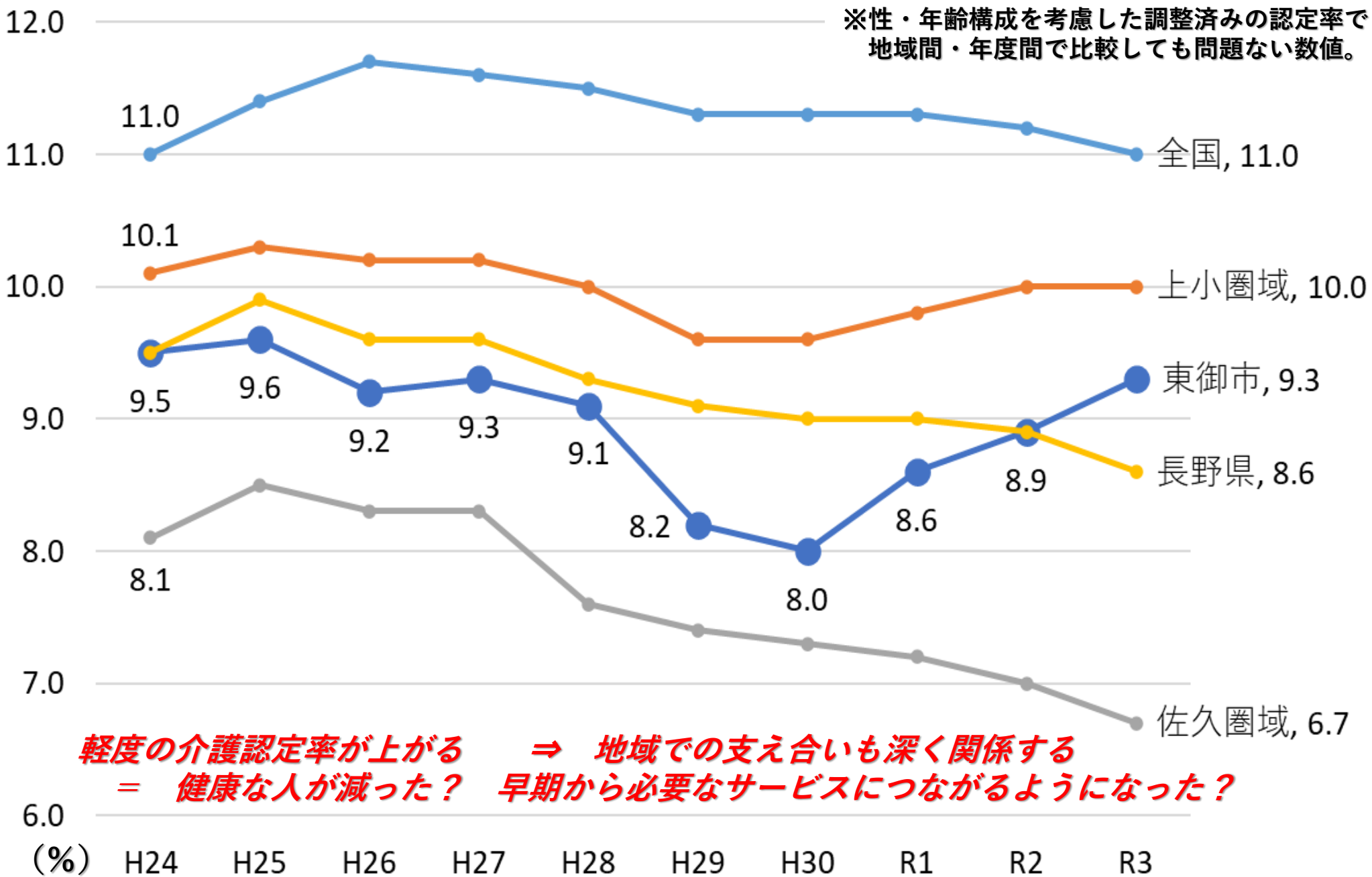
主観的幸福感	2019	2022	n	順位	県
◎ 元気高齢者	7.36 点 →	<b>7.28</b> 点	278	16 位	7.14 点
◎ 居宅要支援者1・2	6.47 点 →	<b>6.54</b> 点	227	30 位	6.41 点

# 大きく低下してきた介護認定率が再び上昇しつつある。⑤



# ● 軽度介護認定率 (要支援 1～要介護 2) の再上昇が顕著。⑥

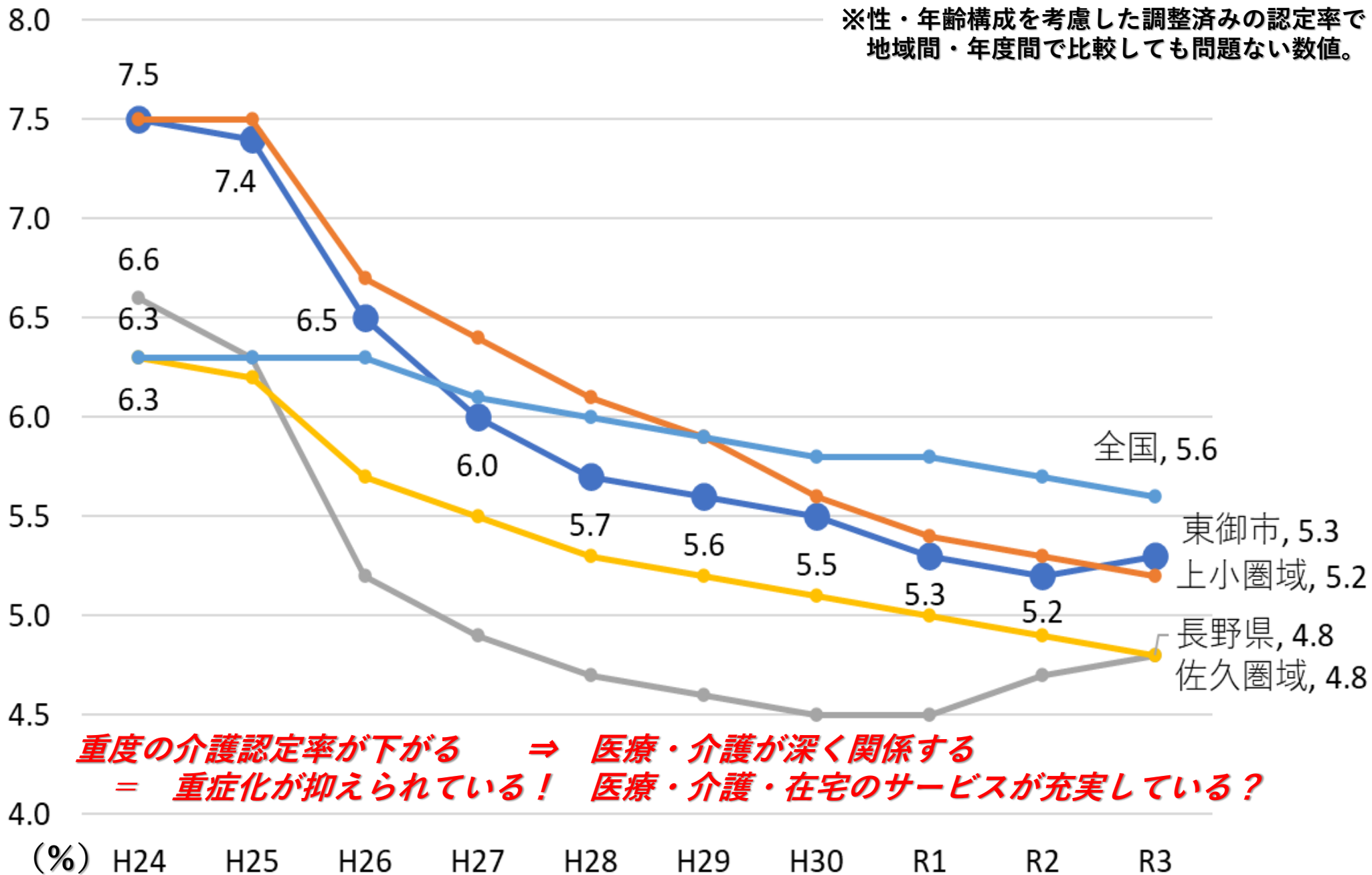
※性・年齢構成を考慮した調整済みの認定率で  
地域間・年度間で比較しても問題ない数値。



**軽度の介護認定率が上がる ⇒ 地域での支え合いも深く関係する**  
**= 健康な人が減った? 早期から必要なサービスにつながるようになった?**

# ● 重度介護認定率 (要介護3以上) もやや再上昇傾向に。 ⑦

※性・年齢構成を考慮した調整済みの認定率で  
地域間・年度間で比較しても問題ない数値。

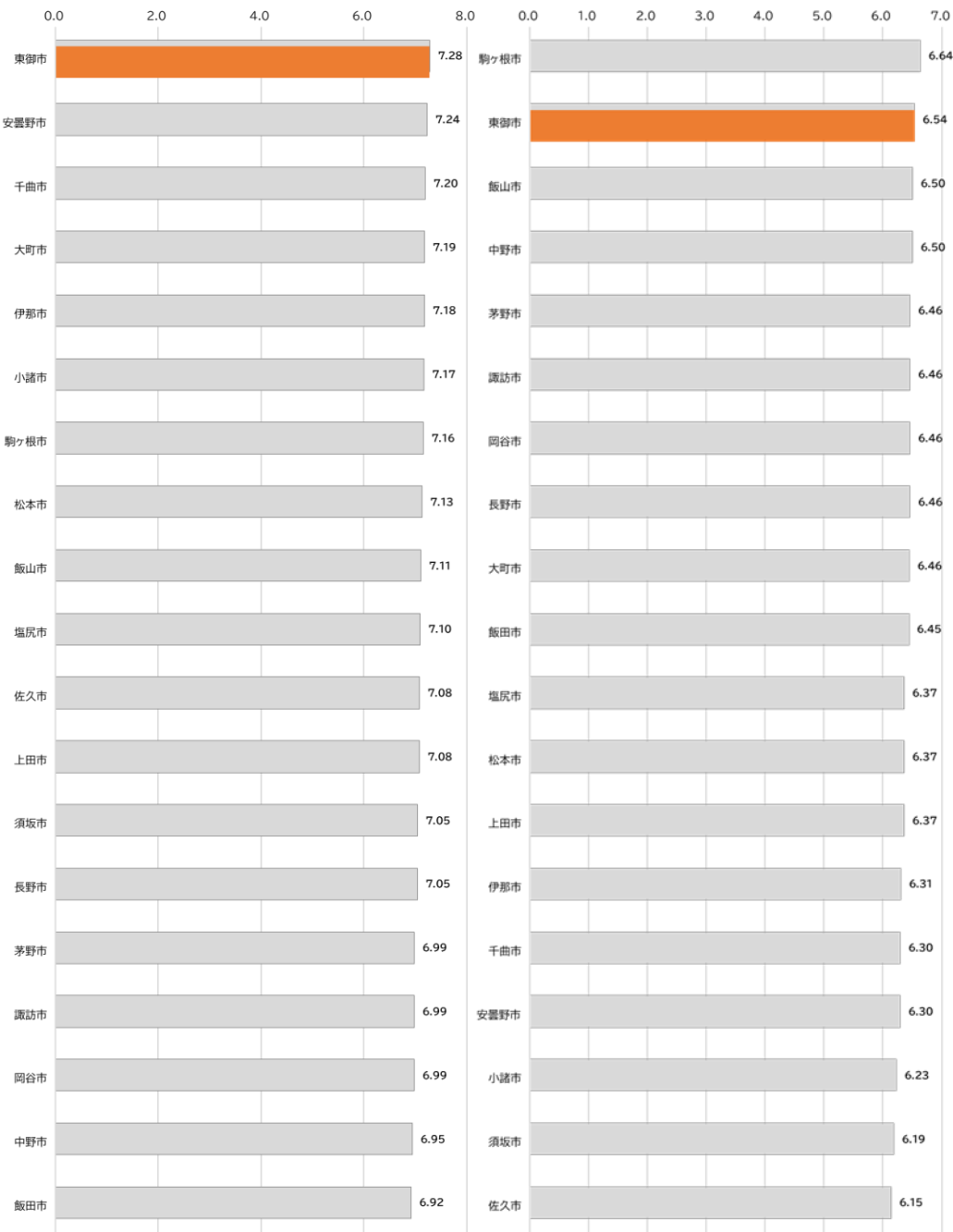


**重度の介護認定率が下がる ⇒ 医療・介護が深く関係する  
= 重症化が抑えられている！ 医療・介護・在宅のサービスが充実している？**

## 2021健康寿命：19市で男性2位、女性6位

## 2022幸福度：19市で元気1位、要支援1・2は2位

4



◎ 年を重ねても、介護が必要になっても、幸福を実感しながら暮らしている

主観的幸福感	2019	2022	n	順位	県
◎ 元気高齢者	7.36 点 →	<b>7.28</b> 点	278	16 位	7.14 点
◎ 居宅要支援・要介護者	6.16 点 →	<b>6.40</b> 点	649	6 位 ★	6.15 点
居宅要支援	6.47 点 →	<b>6.54</b> 点	227	30 位	6.41 点
居宅要介護1・2	6.02 点 →	<b>6.41</b> 点	299	11 位 ★	6.16 点
居宅要介護3・4・5	6.04 点 →	<b>6.11</b> 点	123	11 位 ★	5.69 点

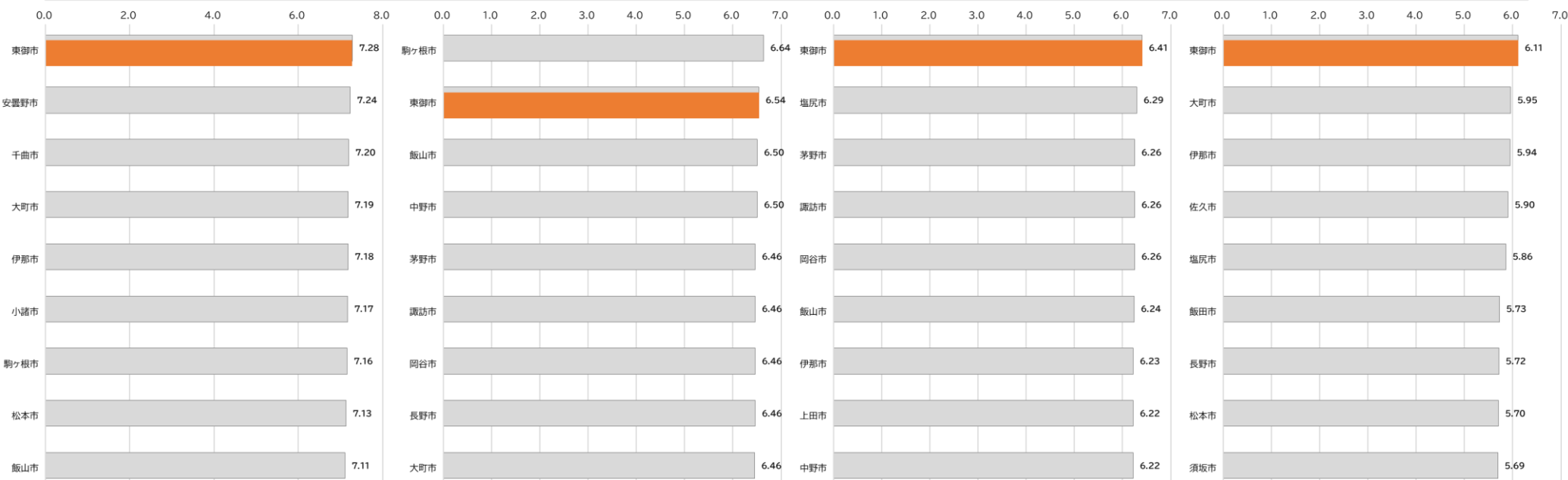
3 幸福度 元気 得点 [2022]

8 幸福度 居宅 要支援1・2 得点 [2022]

9 幸福度 居宅 要介護1・2 得点 [2022]

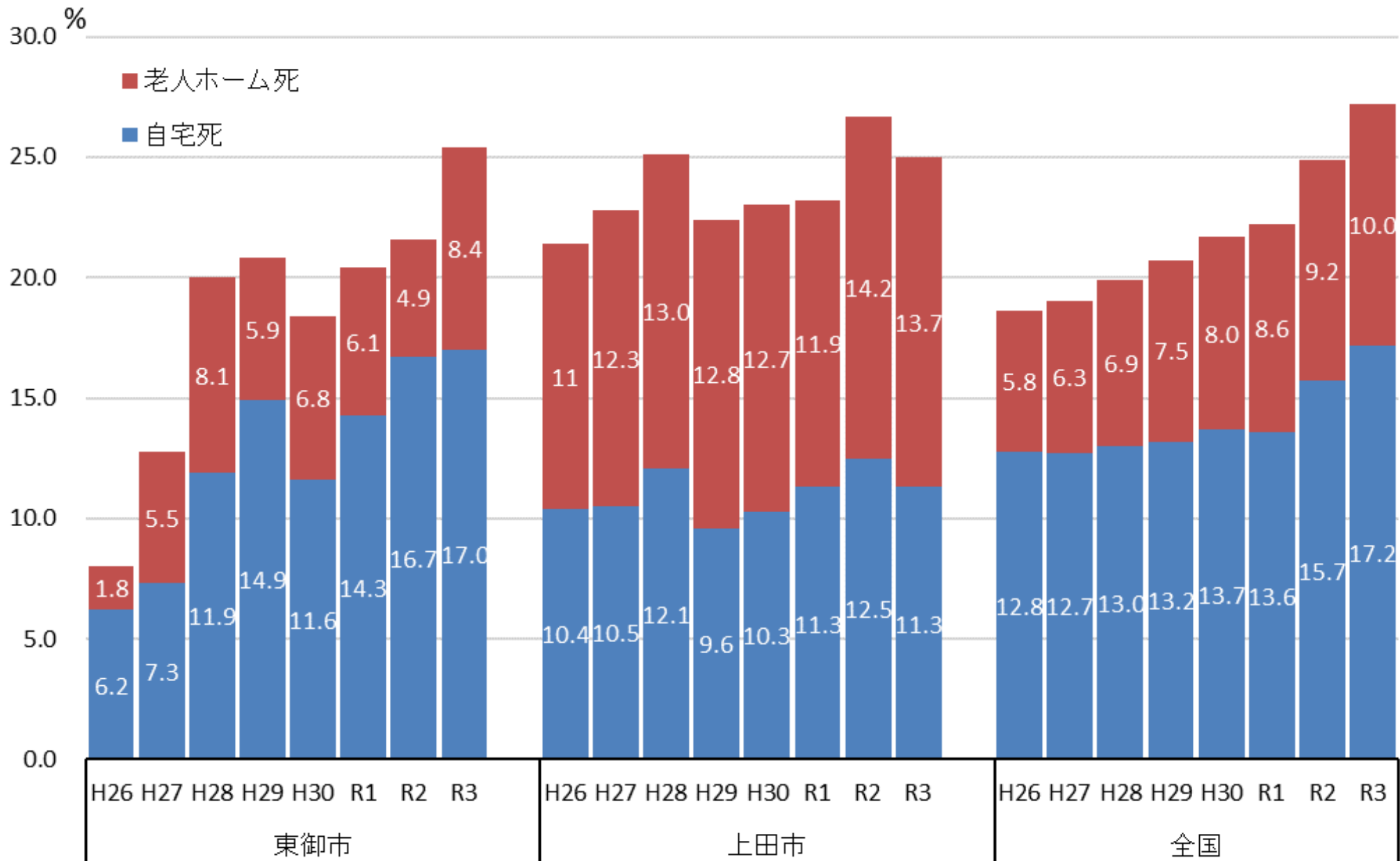
10 幸福度 居宅 要介護3~5 得点 [2022]

幸福度の順位は、元気→要支援になると下がるが、要介護になると高い水準に戻る (ケアへの満足?)





# 死亡場所に占める自宅と老人ホームの割合の地域間比較（東御・上田・全国、H26年度～R3年度）⑨

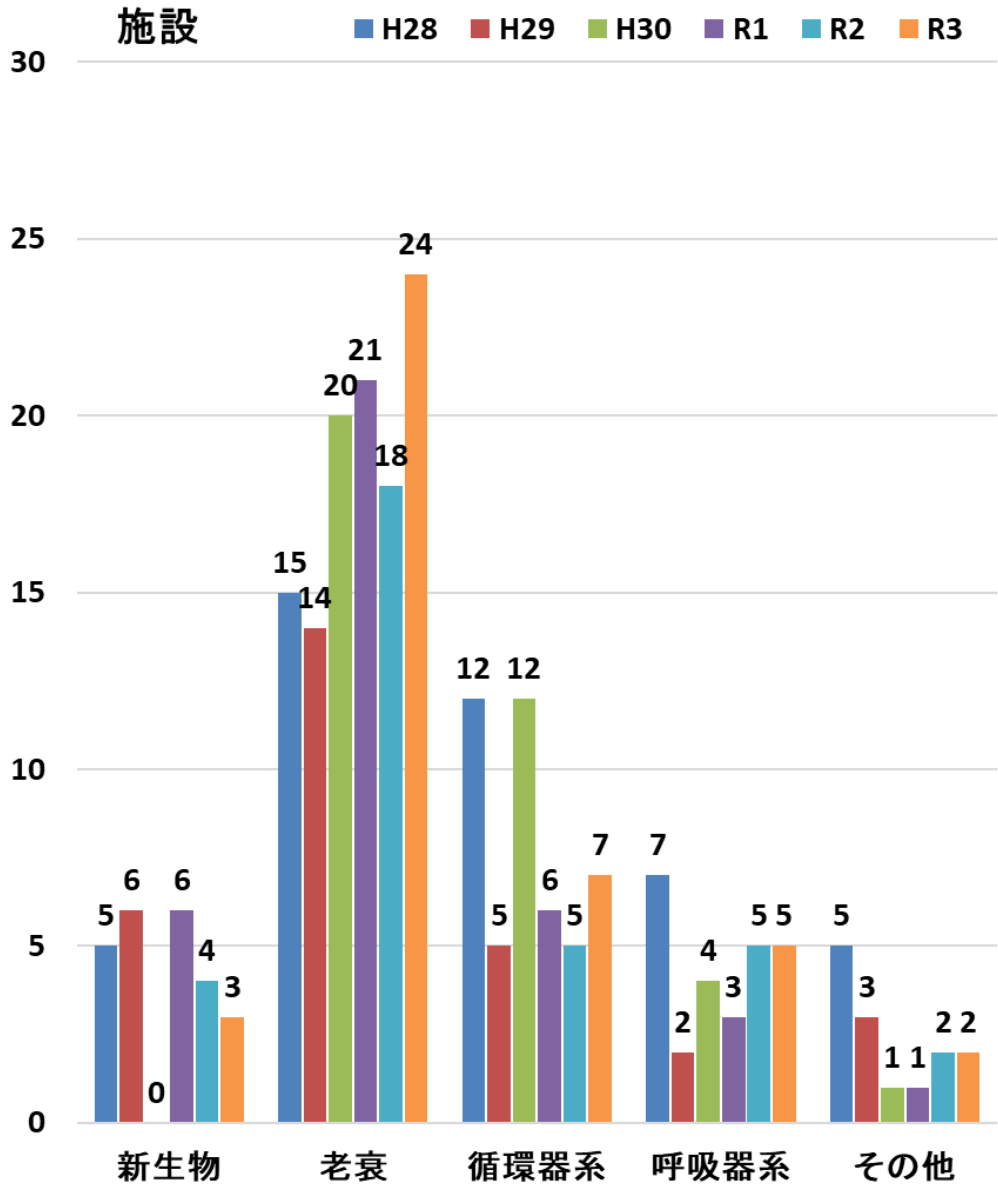
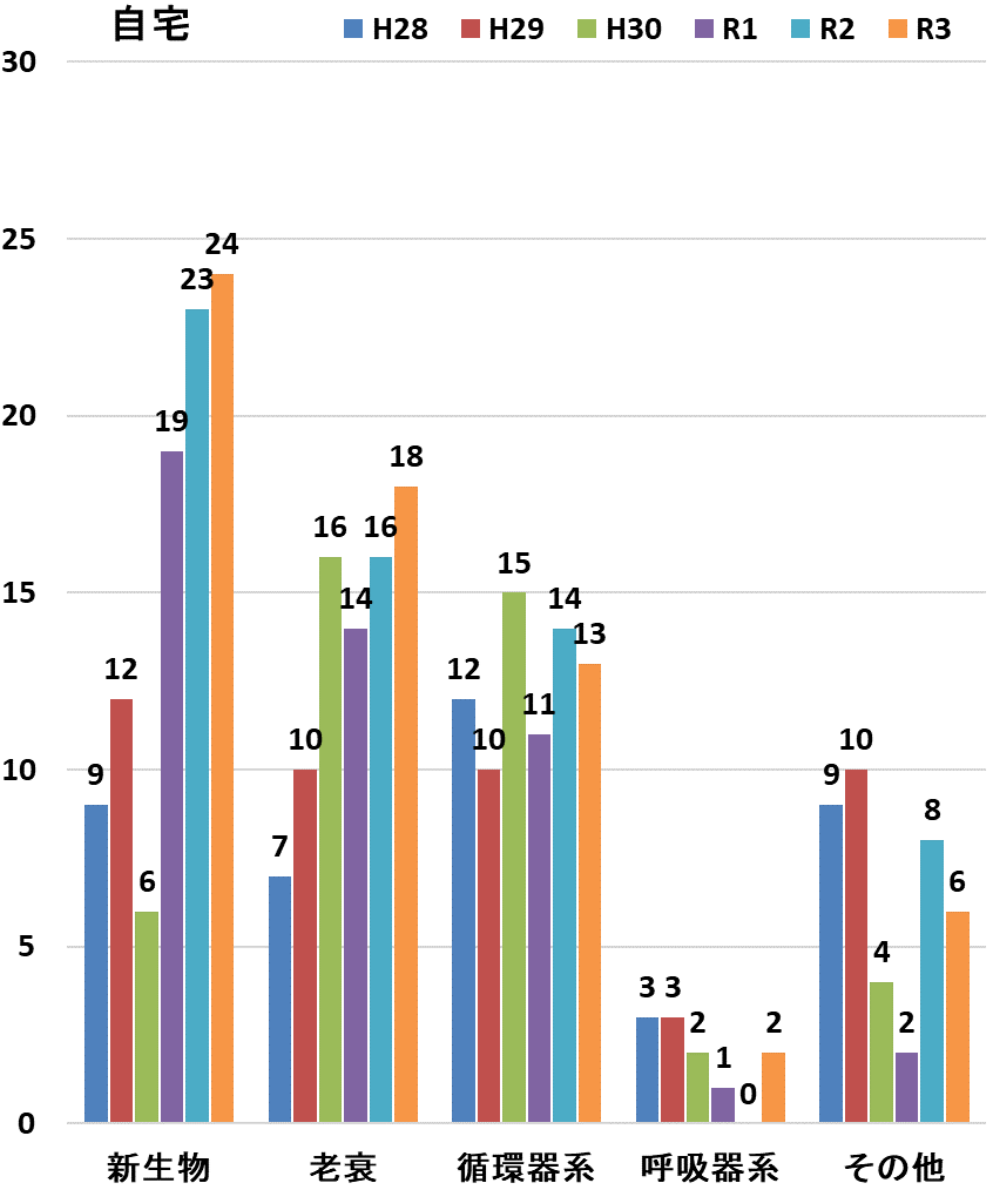


# 死亡場所に占める自宅死の割合（％）の県内19市および全国平均の年次推移（各年度の高い順）

2014年		2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
16.5	駒ヶ根市	21.0	駒ヶ根市	19.2	大町市	16.2	大町市	18.8	大町市	21.0	駒ヶ根市	22.5	駒ヶ根市	21.4	大町市
15.2	須坂市	15.4	諏訪市	18.3	駒ヶ根市	16.0	駒ヶ根市	18.5	駒ヶ根市	15.9	松本市	17.0	佐久市	19.6	伊那市
14.6	飯田市	14.6	飯山市	15.5	飯山市	15.7	諏訪市	14.1	安曇野市	14.3	大町市	16.7	東御市	19.1	駒ヶ根市
14.6	飯山市	14.3	大町市	14.5	諏訪市	15.1	松本市	13.8	松本市	14.3	東御市	16.5	大町市	18.7	松本市
14.4	佐久市	14.0	佐久市	14.0	佐久市	14.9	東御市	13.7	全国	13.6	全国	16.3	伊那市	18.5	安曇野市
13.9	中野市	13.8	茅野市	13.9	松本市	13.9	安曇野市	13.4	飯田市	13.4	伊那市	15.7	全国	18.0	須坂市
13.4	松本市	12.7	全国	13.5	中野市	13.2	全国	13.2	小諸市	13.2	茅野市	15.6	小諸市	17.2	全国
13.3	茅野市	12.6	松本市	13.5	安曇野市	12.8	茅野市	12.9	茅野市	13.0	安曇野市	15.5	諏訪市	17.0	茅野市
13.0	諏訪市	12.4	安曇野市	13.0	全国	12.6	中野市	12.4	中野市	12.7	塩尻市	15.3	飯田市	17.0	東御市
12.8	全国	12.2	飯田市	12.9	飯田市	12.5	佐久市	12.3	佐久市	12.6	須坂市	15.1	安曇野市	16.7	小諸市
12.8	小諸市	11.6	小諸市	12.6	茅野市	12.3	小諸市	11.8	須坂市	12.5	諏訪市	15.0	松本市	16.3	塩尻市
12.1	安曇野市	11.5	伊那市	12.1	上田市	11.8	塩尻市	11.7	飯山市	12.2	小諸市	13.8	中野市	15.3	飯田市
11.1	長野市	11.5	塩尻市	11.9	東御市	11.6	飯山市	11.6	東御市	12.1	佐久市	13.6	塩尻市	15.1	中野市
10.4	上田市	11.0	長野市	11.2	小諸市	11.5	飯田市	11.1	伊那市	11.3	上田市	12.5	上田市	14.3	佐久市
10.1	塩尻市	11.0	千曲市	10.6	塩尻市	11.3	伊那市	11.0	諏訪市	10.6	飯田市	12.5	須坂市	13.3	長野市
9.4	伊那市	10.7	中野市	10.4	伊那市	11.0	須坂市	11.0	塩尻市	10.5	岡谷市	12.0	千曲市	12.0	諏訪市
9.3	千曲市	10.5	上田市	10.2	千曲市	10.6	長野市	10.9	長野市	10.4	長野市	11.0	長野市	11.9	千曲市
9.2	岡谷市	9.0	岡谷市	9.9	長野市	9.7	岡谷市	10.3	上田市	9.8	中野市	10.5	岡谷市	11.5	岡谷市
8.6	大町市	8.4	須坂市	9.7	須坂市	9.6	上田市	10.2	千曲市	9.1	飯山市	10.0	茅野市	11.3	上田市
6.2	東御市	7.3	東御市	8.0	岡谷市	8.3	千曲市	9.2	岡谷市	7.4	千曲市	9.8	飯山市	9.9	飯山市

# 自宅および施設における看取りの死因別で見た件数の推移（平成28年～令和3年）

自宅では、がんと老衰の看取りの人数が、施設では、老衰の看取りの人数が増加している。



# 今後に向けて

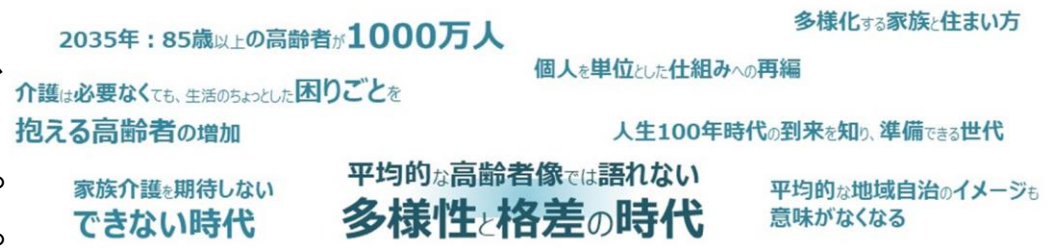
## ①要介護認定率の上昇を抑える取り組みを確立する。

- 要支援・要介護者の重度化の抑制が十分に機能していない可能性が考えられる。
- 現状の通所型サービスA（ミニデイや運動・レク主体）を中心とした展開だけでは不十分。
- 要介護認定率の上昇抑制には、重症化リスクの高い高齢者を対象とした短期集中の通所型サービスC（改善目的の複合プログラム）の受け皿の充実や、地域の身近な場所でより多くの高齢者が気軽に参加できる通所型サービスB（住民主体による支援）の増加、通所サービスを補完する訪問型サービスや生活支援サービス、そして介護予防ケアマネジメントが重要。

## ②「元気高齢者」の幸福感が高く、活動的である強みを今後も保つ。

- 元気高齢者が生きがいを持ち社会活動に積極的で、幸福感が高い状況は今後も継続したい。
- 元気な状態から要支援状態に移行した際の落ち込みが見られ、支えが薄い可能性がある。
- 「少し元気が落ち始めた時にも暮らしやすい地域」であるよう、元気高齢者が居宅高齢者の生活支援や重度化予防に関わり、元気高齢者もいずれ自分が支えられる立場になることを受け入れやすいような地域に。
- 住民リーダーの存在は今後ますます重要に。

## 2040年の社会のイメージ



## ③介護が必要になっても安心して幸せに暮らし続けられる地域支援体制を充実させる

- 介護度が高くなるほど施設依存が大きい。
- 一方、自宅死が低い状態から年々上昇し、最期を支える医療・介護の充実が見られる。
- 重度介護者の支えの充実は評価できるので、軽度介護者の支えのさらなる充実を。

